

『緑豊かなふるさと 文化が香る元気なまち』の実現に向け、

中野市総合計画 後期基本計画を策定しました

問い合わせ先 政策情報課政策推進係 ☎(22)2111(内線216)

本市では、中野市総合計画の基本構想に示されている将来都市像「緑豊かなふるさと文化が香る元気なまち」を実現するため、後期基本計画を策定しました。基本計画は基本構想を実現するための具体的な施策を表したものであり、施策ごとにめざす姿と施策の内容、可能な限り数値目標を示します。計画期間は平成28年度までの6カ年です。後期基本計画は市役所政策情報課、豊田支所地域振興課または市公式ホームページでご覧いただけます。計画の概要版は全戸配布しますので、ご覧ください。

後期基本計画「まちづくり」の基本的視点

前期基本計画の総括および市民意識調査などを反映させた3点を「まちづくりの基本的視点」とし、中野らしさを表現するべく、計画を策定しました。

- (1) 市民生活優先、行政と市民の協働、安全・安心を感じられる施策の展開
- (2) 中野市の持ち味や強みを活かした施策の展開
- (3) 限りある財産・財源、資産・資源の有効活用と環境への配慮による施策の展開

中野市総合計画審議会 の審議経過

後期基本計画の策定にあたっては、条例に基づき中野



小田切市長に審議結果を答申

市総合計画審議会に諮問してご審議をいただき、去る3月22日(火)、小田切市長に対し、計画案については適当である旨の答申がされました。

パブリックコメントの 募集結果と市の考え方

貴重なご意見、ご提言をお寄せいただきありがとうございます。寄せいただいたご意見(Eメール1人、持参1人)の趣旨と、それに対する市の考え方は、次のとおりです。

① 「ご意見の趣旨」

中野市街地には半径2.5キロ圏内に松川・みよし・西町・ひよこ保育園のほかに、中野中央・中野マリア両園を含む6園が近在しています。財政が苦しい中野市で、みよし・西町保育園の新築のために、解体費用を含めて10億5200万円もの設備投資が必要でしょうか。

幼保連携を市が推進し、人的環境に配慮した運営費に充てれば、十分な子育てが支援できると確信します。どうか再考をお願いします。

① 市の考え方

保育所は、保護者が勤務地や就労形態などにより施設を選択できることから、市街地の保育園は申し込みが集中し、また、近年は3歳未満児であつても保育所に預けて働きに出る保護者が増加する傾向

向にあり、この傾向は今後も続くものと考えています。保育園、幼稚園は、それぞれの目的のもと、特色を生かした積極的な運営が求められており、みよし保育園、西町保育園については、未来を担う子どもたちに、より良い環境で、きめ細かな保育サービスの提供を図るため、個別に整備するものです。

なお、幼保一元化については、国の重要課題として平成8年以来検討が進められていますが、いまだに制度の確立がされていませんので、今後も国の動向を注視し対応していきます。

② 「ご意見の趣旨」

「地域防災計画」とはどんな内容か。

② 市の考え方

地域防災計画は、災害対策基本法の規定により、中野市防災会議が作成する計画で、本市の災害予防、災害応急、災害復旧・復興対策を実施することにより、土地の保全と住民の生命、身体および財産を災害から保護することを目的としています。そのため、市は平時時から情報収集と関係機関との連携に努め、災害

③ 「ご意見の趣旨」

全体的にわかりにくい。

後期基本計画に平成23年度は入れず、平成24年度からとして、住民を交えて基本から作り直す必要があると思う。多くの住民が策定段階から携り「わが中野市の政策はこういうものだ」と認識することは、政策遂行のために多くの利点があるのではないか。

③ 市の考え方

今回の計画は、平成28年度を目標とする基本構想の実現を図るためのものです。計画策定には、市内在住の16歳以上の3000人の方を対象とした市民意識調査を実施し、その結果を計画策定に反映させたほか、市民などの代表者を含めた総合計画審議会のご審議、パブリックコメント、住民懇談会での意見聴取を行いました。

たいへん多岐にわたる計画ですので、市民の皆さんには計画の概要版を全戸配布します。今後も、計画策定に限らずあらゆる機会を捉え、市民参加・協働による市政を進めていきます。

数」とあるが、なぜ「受診者数÷受診該当者」としなかったのか。

④ 市の考え方

年齢だけで人数を把握することはできませんが、正確な対象者を把握することが困難なため、申込者数で指標としています。

⑤ 「ご意見の趣旨」

さんさん講座受講者数の目標値、平成28年度の250人は何を意味するのか。平成21年度から7年かけて6人増やすことが重要なことなのか。また、平成17年度のデータが前期基本計画と著しく異なっているがなぜか。

⑤ 市の考え方

さんさん講座は1回10人から15人の単位で実施しています。実施にあたっては、対象者のペースにあわせ、無理のない内容で行動しやすい時間帯や回数を考慮しています。目標値は、受講生の要望に沿うよう、継続して実施していきたいとの考えです。

また、平成17年度のデータが前期基本計画と異なっているのは、受講者数を延べ人数に統一したためです。

65歳以上の介護認定者割合の目標値、平成28年度の20.3%以下は何を意味するのか。特別養護老人ホームの建設に際し、市外からのお客を大量に受け入れる予定でもあるのだろうか。

⑥ 「ご意見の趣旨」

平成18年度から平成22年度の実績値を基礎として算出した数値です。第1号被保険者数の増加で認定率も高くなると見込まれるが、介護予防事業の実施により、伸び率を抑制していきたいと考えています。

⑥ 市の考え方

また、市外からの特別養護老人ホームの入所者は、転入前の市町村の要介護認定者となるため、認定者としては数えていません。

一人当たりの医療費の平成28年度の24万1000円は何を意味するのか。後期高齢者医療制度移行後の平成20年度の一人当たり医療費が18万6000円、平成21年度が19万2000円、1年間に上昇額が6000円、平成21年度から7年後の平成

⑦ 「ご意見の趣旨」

一人当たりの医療費の平成28年度の24万1000円は何を意味するのか。後期高齢者医療制度移行後の平成20年度の一人当たり医療費が18万6000円、平成21年度が19万2000円、1年間に上昇額が6000円、平成21年度から7年後の平成

介護保険「一人当たりの給付額」の平成28年度の32万8000円は何を意味するのか。また、一人当たりの額が現状より9万1000円(28%)の上昇は何を物語るのか。

⑧ 「ご意見の趣旨」

給付額の上昇は、高齢化率の伸びに伴う要介護認定者の増加を考慮しました。また、1000人を超える特別養護老人ホームの待機者解消を図るため、特養・グループホームの整備が進められることによる介護保険財政への影響も推計して試算したものです。

⑧ 市の考え方

給付額の上昇は、高齢化率の伸びに伴う要介護認定者の増加を考慮しました。また、1000人を超える特別養護老人ホームの待機者解消を図るため、特養・グループホームの整備が進められることによる介護保険財政への影響も推計して試算したものです。

④ 「ご意見の趣旨」
いきいき検診実施率の算出方法は、「受診者数÷申込者

⑤ 「ご意見の趣旨」
さんさん講座は1回10人から15人の単位で実施しています。実施にあたっては、対象者のペースにあわせ、無理のない内容で行動しやすい時間帯や回数を考慮しています。目標値は、受講生の要望に沿うよう、継続して実施していきたいとの考えです。

⑦ 「ご意見の趣旨」
一人当たりの医療費の平成28年度の24万1000円は何を意味するのか。後期高齢者医療制度移行後の平成20年度の一人当たり医療費が18万6000円、平成21年度が19万2000円、1年間に上昇額が6000円、平成21年度から7年後の平成

⑧ 「ご意見の趣旨」
給付額の上昇は、高齢化率の伸びに伴う要介護認定者の増加を考慮しました。また、1000人を超える特別養護老人ホームの待機者解消を図るため、特養・グループホームの整備が進められることによる介護保険財政への影響も推計して試算したものです。

⑨ 「ご意見の趣旨」
全体的にわかりにくい。後期基本計画に平成23年度は入れず、平成24年度からとして、住民を交えて基本から作り直す必要があると思う。多くの住民が策定段階から携り「わが中野市の政策はこういうものだ」と認識することは、政策遂行のために多くの利点があるのではないか。